

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

2 調査の周期・期日

周期 昭和23年度から毎年実施（昭和23年度から昭和34年度までは、統計の名称を「学校衛生統計」として実施）。

期日 令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に実施。

3 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応

令和4年度については、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日までの調査期日が、当該年度末まで延長となった。

このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものであり、過去の数値と単純比較することはできない。

4 調査の対象

満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の一部（抽出調査）。

なお、調査実施学校（園）数、調査対象者数及び抽出率は、次のとおりである。

区 分	学校（園）総数	児童等総数	調査実施学校（園）数	発育状態調査		健康状態調査	
				調査対象者（人）	抽出率（%）	調査対象者（人）	抽出率（%）
幼稚園	332	5,531	35	760	13.7	781	14.1
小学校	259	53,644	58	5,288	9.9	19,074	35.6
中学校	156	29,042	39	4,217	14.5	11,622	40.0
高等学校	71	29,349	27	2,316	7.9	15,482	52.8
計	818	117,566	159	12,581	10.7	46,959	39.9

注1:発育状態調査は、調査実施校に在籍する児童等のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

注2:学校（園）総数及び児童等総数は令和4年度学校基本調査（青森県分）による。

注3:幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む。

注4:幼稚園の児童等総数は「5歳児」のみの人数である。

5 調査事項

(1) 児童等の発育状態（身長及び体重）

(2) 児童等の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、裸眼視力、眼の疾病・異常、難聴、耳鼻咽喉頭疾患、皮膚疾患、結核に関する検診、結核、心電図異常、心臓、蛋白検出、尿糖検出、その他の疾病・異常、歯・口腔、永久歯のう歯等数）

《利用上の注意》

(1) 年齢は、令和4年4月1日現在の満年齢である。

(2) 統計表の中の記号

「－」 計数がない場合

「…」 調査対象とならなかった場合

「0.00」 計数が単位未満の場合

「X」 標本サイズが小さい、又は標準誤差が大きいため統計数値を公表しない場合

(3) 合計の数値は、四捨五入を行っているため各項目の合計と一致しない場合がある。

II 調査結果の概要

1 発育状態

(1) 身長

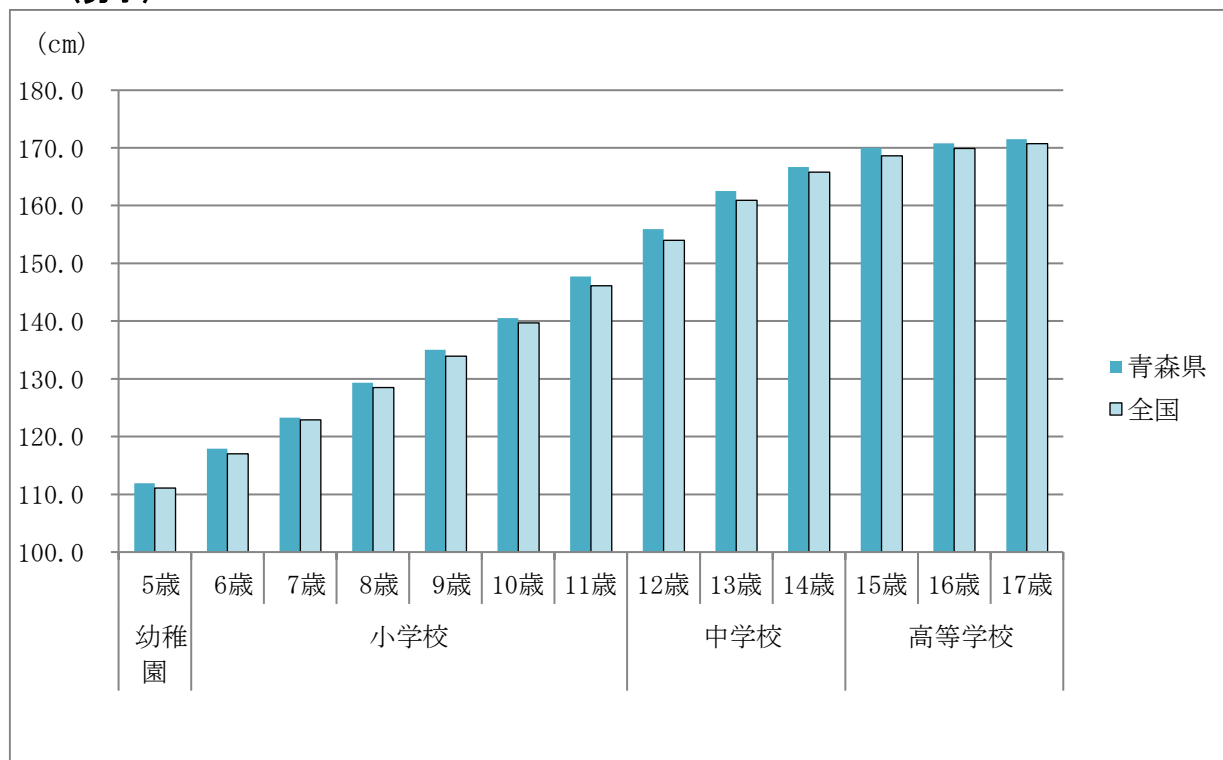
- ・男子は全年齢で、女子は15歳を除いた12の区分で全国平均を上回っている。その差が最も大きいのは、男子では12歳の1.9cm、女子では9歳の1.6cmとなっている。
- ・男子は11歳、13歳、15歳、16歳、女子は9歳で全国第1位となっている。

表1 身長の平均値

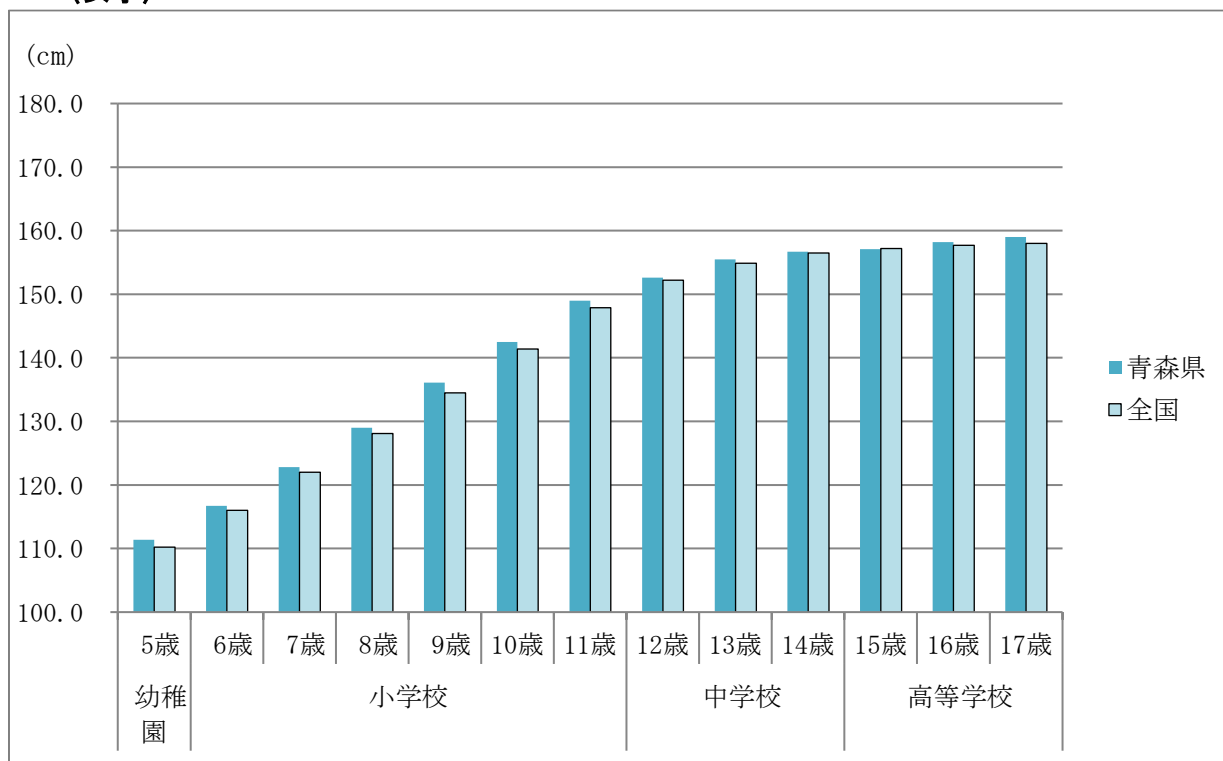
区 分		年齢	身 長 (cm)				
			青森県 での調 査人数	令和4年度 (青森県) A	令和4年度 (全 国) B	全国との 差 A-B	令和4年度 青森県 順 位
男	幼稚園	5歳	412	111.9	111.1	0.8	3
		6歳	443	117.9	117.0	0.9	2
	小学校	7歳	440	123.3	122.9	0.4	7
		8歳	438	129.3	128.5	0.8	4
		9歳	444	135.0	133.9	1.1	2
		10歳	444	140.5	139.7	0.8	4
		11歳	440	147.7	146.1	1.6	1
	中学校	12歳	695	155.9	154.0	1.9	2
		13歳	702	162.5	160.9	1.6	1
		14歳	706	166.7	165.8	0.9	2
	高等学校	15歳	379	170.0	168.6	1.4	1
		16歳	379	170.8	169.9	0.9	1
		17歳	383	171.5	170.7	0.8	4
	女	幼稚園	5歳	348	111.4	110.2	1.2
6歳			440	116.7	116.0	0.7	2
小学校		7歳	437	122.8	122.0	0.8	2
		8歳	438	129.0	128.1	0.9	2
		9歳	439	136.1	134.5	1.6	1
		10歳	440	142.5	141.4	1.1	2
		11歳	445	149.0	147.9	1.1	2
中学校		12歳	693	152.6	152.2	0.4	8
		13歳	706	155.5	154.9	0.6	3
		14歳	715	156.7	156.5	0.2	14
高等学校		15歳	391	157.1	157.2	-0.1	19
		16歳	393	158.2	157.7	0.5	7
		17歳	391	159.0	158.0	1.0	2

グラフ1 身長の平均値

〈男子〉



〈女子〉



(2) 体 重

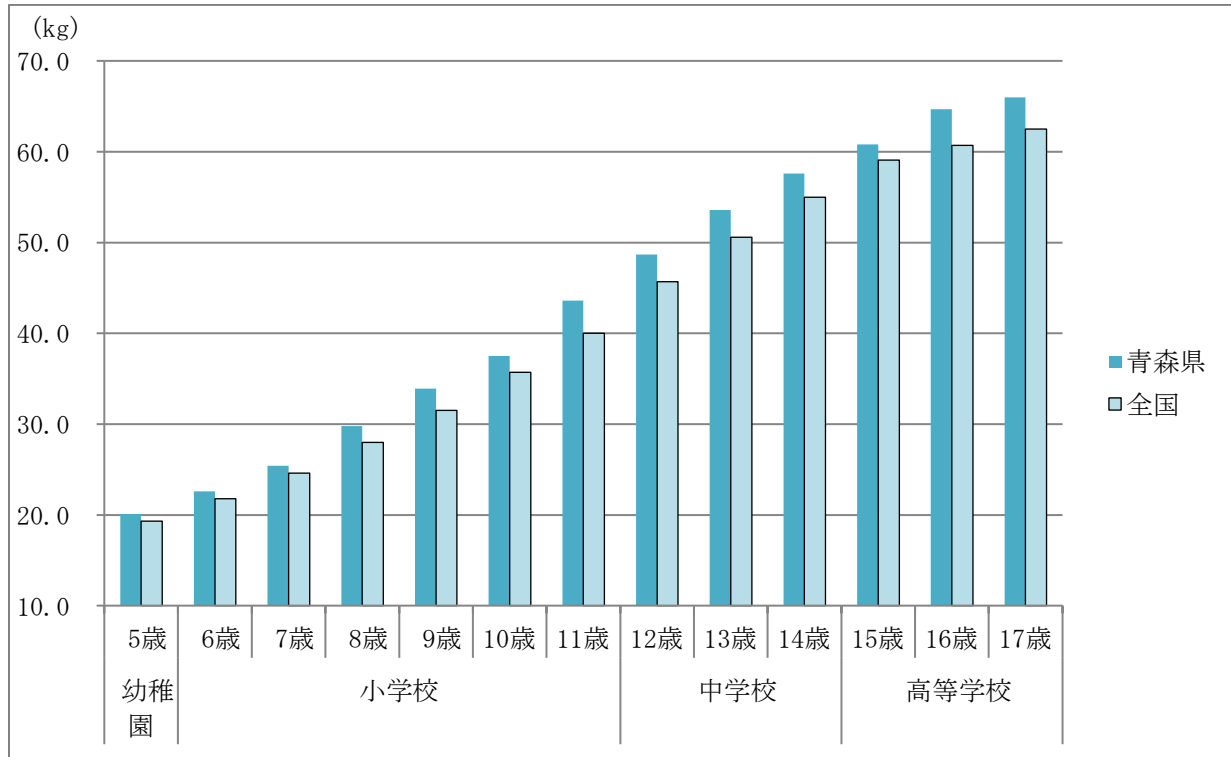
- ・男子、女子とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では16歳の4.0kg、女子では13歳の2.1kgとなっている。
- ・男子は5歳、8歳～14歳、16歳、17歳、女子は5歳、7歳～10歳、13歳、14歳、16歳で全国第1位となっている。

表2 体重の平均値

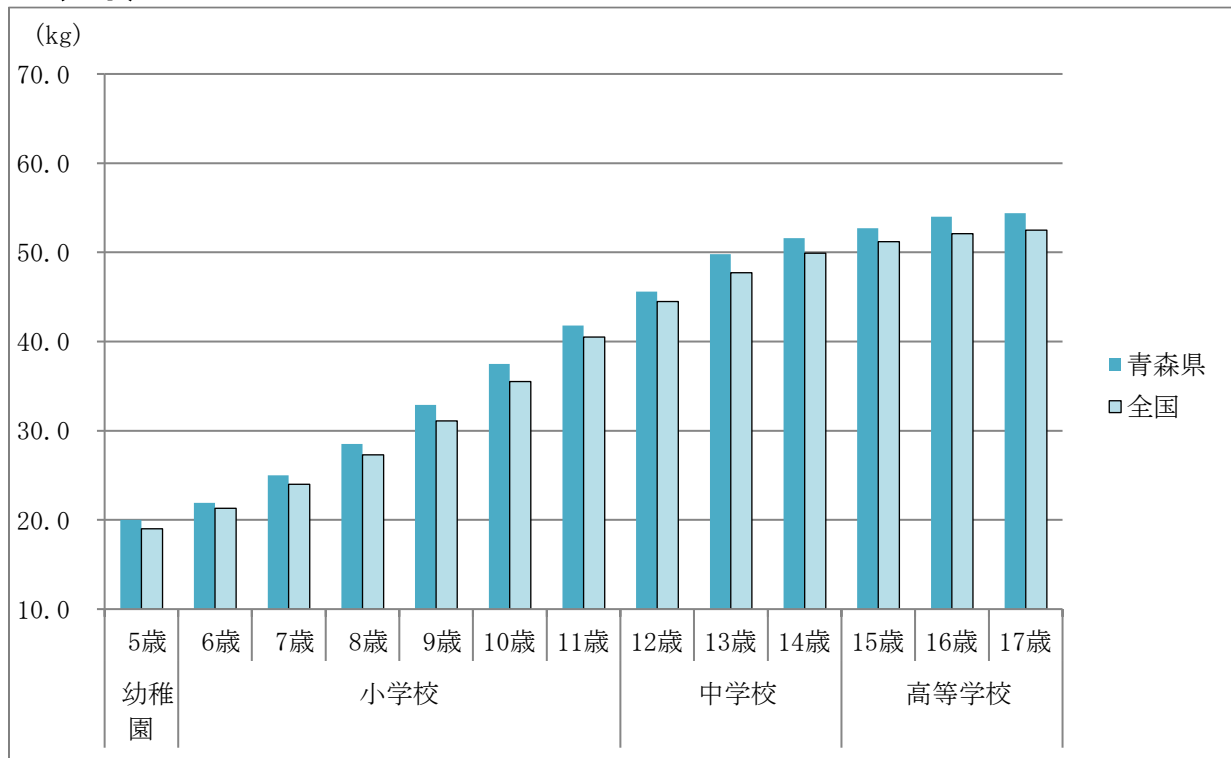
区 分		年 齢	体 重 (kg)				
			青森県 での調 査人数	令和4年度 (青森県) A	令和4年度 (全 国) B	全国との 差 A-B	令和4年度 青森県 順 位
男	幼稚園	5歳	412	20.1	19.3	0.8	1
	小学校	6歳	443	22.6	21.8	0.8	2
		7歳	440	25.4	24.6	0.8	3
		8歳	438	29.8	28.0	1.8	1
		9歳	444	33.9	31.5	2.4	1
		10歳	444	37.5	35.7	1.8	1
		11歳	440	43.6	40.0	3.6	1
	中学校	12歳	695	48.7	45.7	3.0	1
		13歳	702	53.6	50.6	3.0	1
		14歳	706	57.6	55.0	2.6	1
	高等学校	15歳	379	60.8	59.1	1.7	2
		16歳	379	64.7	60.7	4.0	1
		17歳	383	66.0	62.5	3.5	1
	女	幼稚園	5歳	348	20.0	19.0	1.0
小学校		6歳	440	21.9	21.3	0.6	3
		7歳	437	25.0	24.0	1.0	1
		8歳	438	28.5	27.3	1.2	1
		9歳	439	32.9	31.1	1.8	1
		10歳	440	37.5	35.5	2.0	1
		11歳	445	41.8	40.5	1.3	4
中学校		12歳	693	45.6	44.5	1.1	5
		13歳	706	49.8	47.7	2.1	1
		14歳	715	51.6	49.9	1.7	1
高等学校		15歳	391	52.7	51.2	1.5	3
		16歳	393	54.0	52.1	1.9	1
		17歳	391	54.4	52.5	1.9	2

グラフ2 体重の平均値

〈男子〉



〈女子〉



(3) 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

肥満傾向児及び痩身傾向児の本県と全国における出現率は表3のとおりで、肥満傾向児の出現率は、男子、女子とも全年齢で全国平均を上回っている。

① 肥満傾向児

- ・男子では、9歳の出現率が23.24%で最も高く、全国値との差も9歳が最も大きく、10.07ポイント上回っている。
- ・女子では、10歳の出現率が17.63%で最も高く、全国値との差も10歳が最も大きく、7.89ポイント上回っている。
- ・男子は、8歳、9歳、11歳、14歳、16歳、女子は5歳、7歳、10歳、13歳、14歳で全国第1位となっている。

② 痩身傾向児

- ・男子では、15歳の出現率が4.91%で最も高く、全国値との差では17歳が最も大きく、1.87ポイント下回っている。
- ・女子では、11歳の出現率が3.35%で最も高く、全国値との差では15歳が最も大きく、1.71ポイント下回っている。

表3 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

(単位：%)

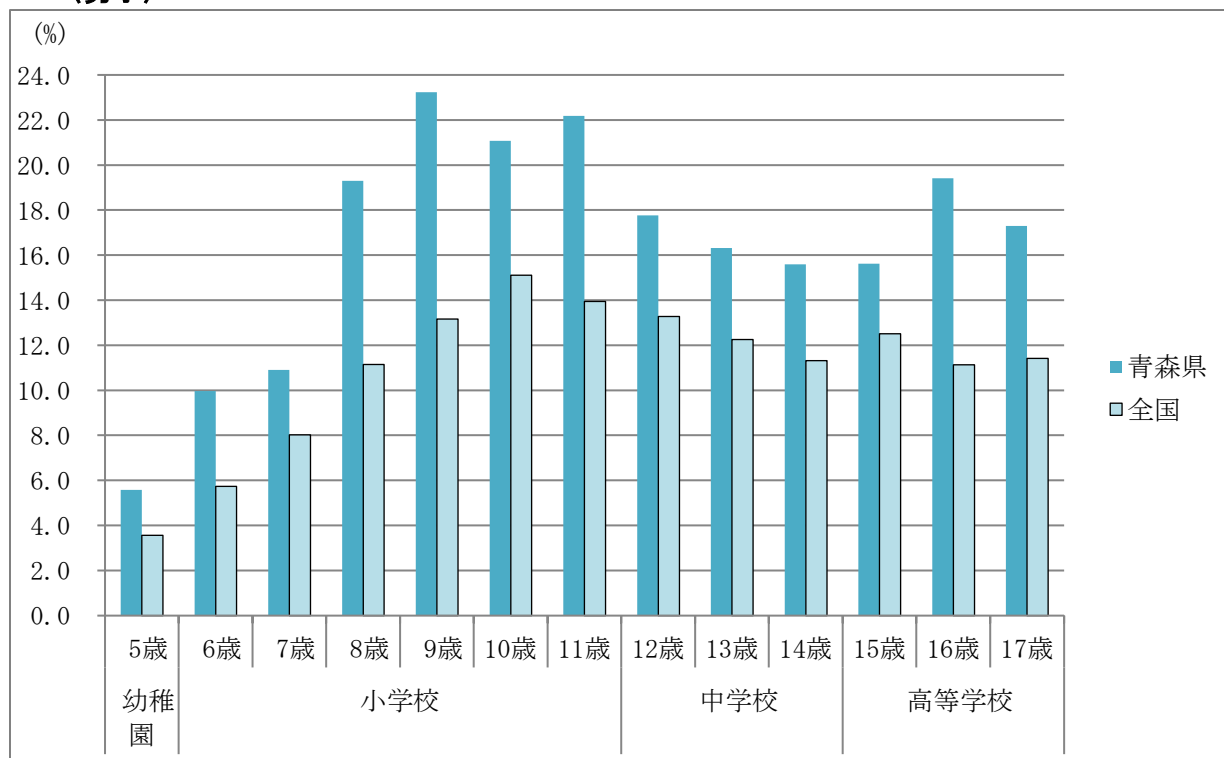
区分	年齢	肥満傾向児				痩身傾向児				
		令和4年度 (青森県) A	令和4年度 (全国) B	全国との 差 A-B	令和4年度 青森県 順位	令和4年度 (青森県) C	令和4年度 (全国) D	全国との 差 C-D	令和4年度 青森県 順位	
男	幼稚園	5歳	5.58	3.56	2.02	8	-	0.15	-	-
		小学校	6歳	9.97	5.74	4.23	2	0.53	0.28	0.25
	7歳		10.90	8.02	2.88	5	0.16	0.41	-0.25	36
	8歳		19.30	11.14	8.16	1	-	0.58	-	-
	9歳		23.24	13.17	10.07	1	0.59	1.41	-0.82	45
	10歳		21.07	15.11	5.96	2	2.35	2.36	-0.01	21
	11歳		22.19	13.95	8.24	1	2.81	2.91	-0.10	17
	中学校	12歳	17.76	13.27	4.49	3	1.96	3.21	-1.25	38
		13歳	16.32	12.25	4.07	3	1.61	2.59	-0.98	43
		14歳	15.59	11.31	4.28	1	1.75	2.87	-1.12	40
	高等学校	15歳	15.62	12.51	3.11	4	4.91	4.43	0.48	13
		16歳	19.42	11.13	8.29	1	2.18	3.71	-1.53	37
		17歳	17.30	11.42	5.88	3	1.45	3.32	-1.87	42
女	幼稚園	5歳	9.24	3.73	5.51	1	-	0.23	-	-
		小学校	6歳	7.34	5.50	1.84	12	0.50	0.44	0.06
	7歳		13.13	7.23	5.90	1	1.27	0.46	0.81	3
	8歳		12.79	9.07	3.72	5	1.24	1.01	0.23	15
	9歳		12.88	9.57	3.31	6	0.97	1.87	-0.90	36
	10歳		17.63	9.74	7.89	1	1.75	2.53	-0.78	31
	11歳		12.36	10.47	1.89	11	3.35	2.40	0.95	6
	中学校	12歳	11.77	9.51	2.26	16	3.11	3.85	-0.74	29
		13歳	14.74	9.05	5.69	1	2.41	3.28	-0.87	36
		14歳	12.28	7.71	4.57	1	2.51	3.09	-0.58	30
	高等学校	15歳	13.90	7.68	6.22	3	1.42	3.13	-1.71	45
		16歳	11.88	6.98	4.90	4	1.72	2.94	-1.22	38
		17歳	12.55	7.45	5.10	2	2.56	2.38	0.18	19

注： 1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。
2. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

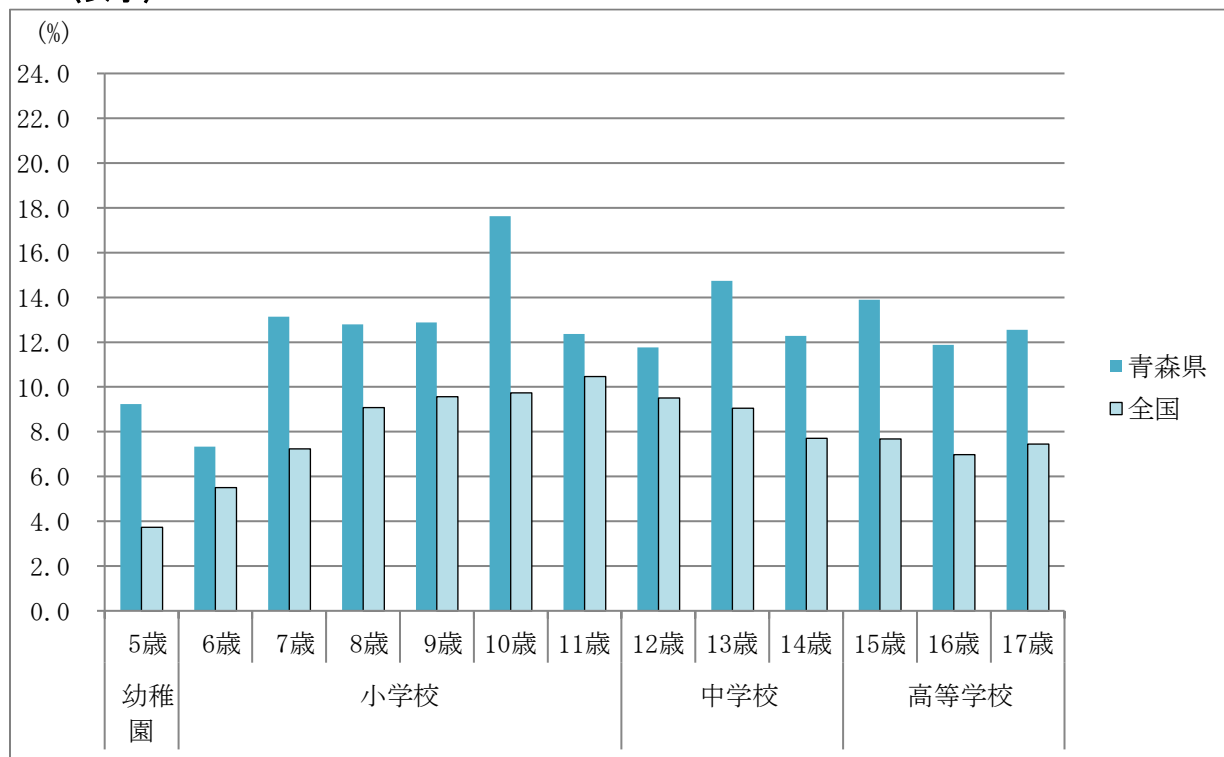
※ 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

グラフ3 肥満傾向児の出現率

〈男子〉

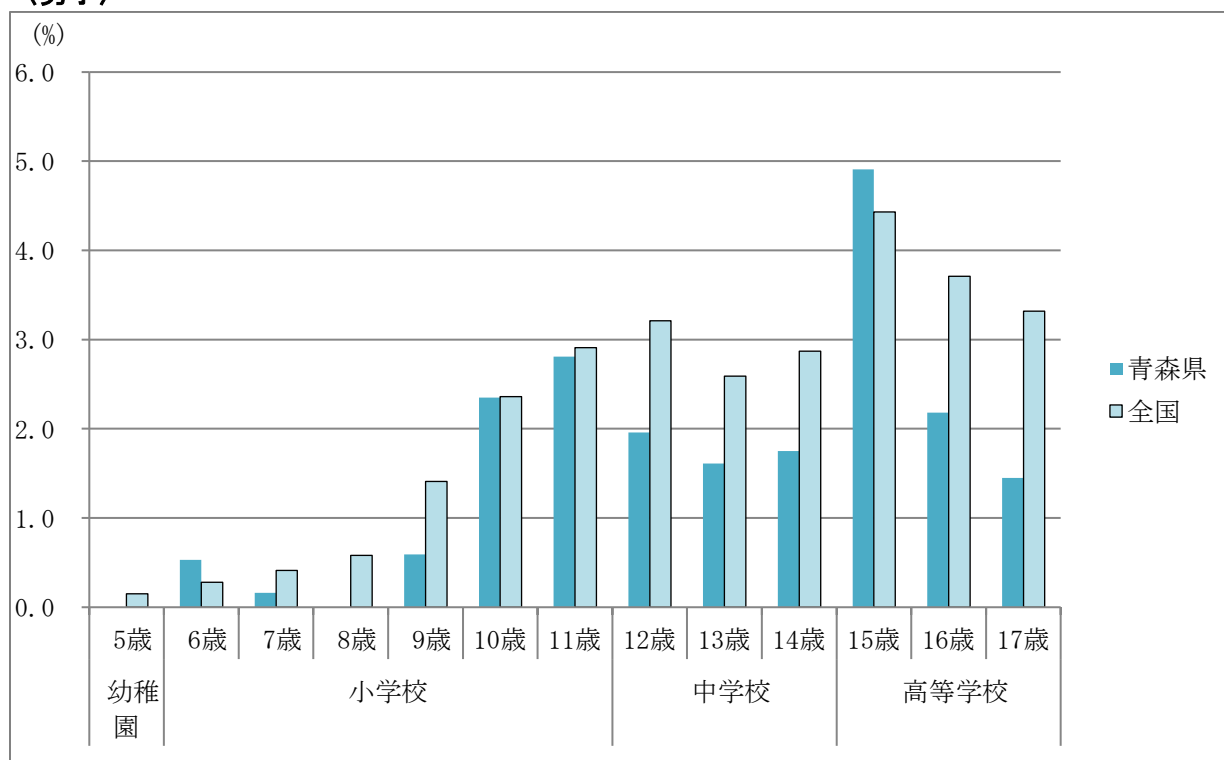


〈女子〉

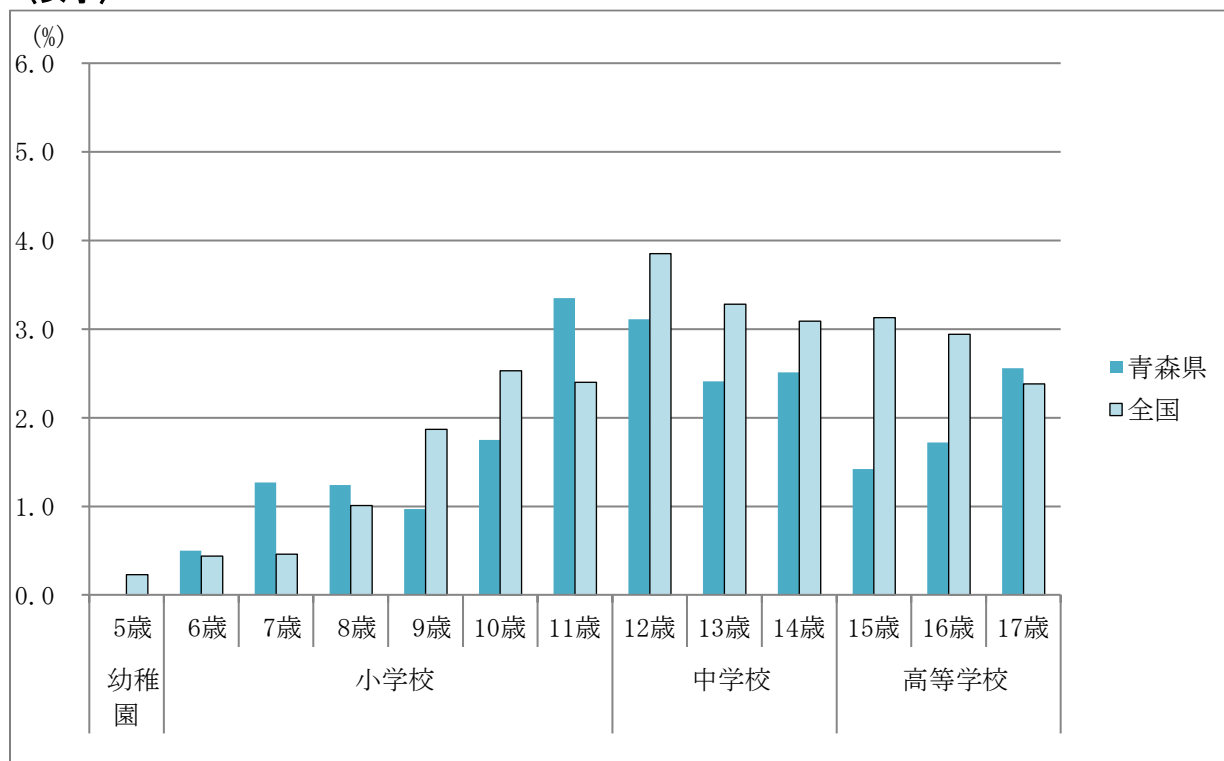


グラフ4 痩身傾向児の出現率

〈男子〉



〈女子〉



注：青森県の5歳男子及び女子、8歳男子は「計数なし」となっている。

2 健康状態

(1) 疾病・異常の被患率等の状況

- ・ 幼稚園及び小学校においてはむし歯（う歯）の者の割合が最も高く、次いで裸眼視力1.0未満の者の順になっている。
- ・ 中学校及び高等学校においては、裸眼視力1.0未満の者の割合が最も高く、次いでむし歯（う歯）の順になっている。

表4 疾病・異常の被患率等別状況

区 分	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	
70%以上～80%未満			裸眼視力1.0未満の者	裸眼視力1.0未満の者	
60～70					
50～60		むし歯（う歯）		むし歯（う歯）	
40～50	むし歯（う歯）	裸眼視力1.0未満の者	むし歯（う歯）		
30～40					
20～30	裸眼視力1.0未満の者				
10～20		鼻・副鼻腔疾患 歯・口腔のその他の疾 病・異常	鼻・副鼻腔疾患		
1～10	8～10				
	6～8	歯列・咬合		鼻・副鼻腔疾患	
	4～6	歯・口腔のその他の疾 病・異常	眼の疾病・異常 耳疾患 栄養状態 その他の疾病・異常	歯列・咬合 歯垢の状態 歯肉の状態 歯・口腔のその他の疾 病・異常 その他の疾病・異常	その他の疾病・異常
	2～4	鼻・副鼻腔疾患 アトピー性皮膚炎 その他の疾病・異常	歯列・咬合 歯垢の状態 せき柱・胸郭・四肢の状 態	眼の疾病・異常 耳疾患 栄養状態 せき柱・胸郭・四肢の 状態 心電図異常 蛋白検出の者	眼の疾病・異常 歯列・咬合 歯垢の状態 歯肉の状態 蛋白検出の者
	1～2	栄養状態 ぜん息	歯肉の状態 アトピー性皮膚炎 心電図異常 ぜん息		耳疾患 歯・口腔のその他の疾 病・異常 アトピー性皮膚炎 心電図異常 ぜん息
0.1～1	0.5～1	眼の疾病・異常 その他の皮膚疾患 言語障害	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 その他の皮膚疾患 蛋白検出の者	アトピー性皮膚炎 その他の皮膚疾患 ぜん息	顎関節 心臓の疾病・異常
	0.1～0.5	歯垢の状態 せき柱・胸郭・四肢の 状態 心臓の疾病・異常 蛋白検出の者	顎関節 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患 言語障害	難聴 口腔咽喉頭疾患・異常 顎関節 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 腎臓疾患 言語障害	難聴 栄養状態 せき柱・胸郭・四肢の 状態 その他の皮膚疾患 結核 尿糖検出の者 腎臓疾患
0.1%未満		結核の精密検査の対象者		口腔咽喉頭疾患・異常 言語障害	

- 注 1. この表は、健康診断受検者のうち疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載のあった者）の占める割合の推定値を示したものである。
2. 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、肥大、咽頭炎、喉頭炎、扁桃炎、音声言語異常のある者等である。
3. 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、唾石、癒合歯、要注意乳歯等のある者等である。
4. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。
5. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。
6. 「蛋白検出の者」とは、尿検査のうち、蛋白第1次検査の結果、尿中に蛋白が検出（陽性（+以上）又は擬陽性（±）と判定）された者である。
7. 「尿糖検出の者」とは、尿検査のうち、糖第1次検査の結果、尿中に糖が検出（陽性（+以上）と判定）された者である。

(2) 主な疾病・異常等の推移

疾病・異常等の主なものの推移は、表5のとおりとなっている。

- ・裸眼視力1.0未満の者は、幼稚園を除いて、全国平均を上回っている。
- ・むし歯（う歯）の者の割合は、全学校区分で全国平均を上回っている。

表5 主な疾病・異常等の推移

(単位：%)

区 分		未裸 満眼 の視 者力 1.0	耳 疾 患	疾 鼻 ・ 副 鼻 患 腔	疾 口 患 腔 ・ 咽 喉 異 常 頭	(む う し 歯) 歯	皮 ア ト 膚 ピ ー 炎 性	心 電 図 異 常	の 蛋 白 検 者 出	ぜ ん 息
幼 稚 園	青森県 平成24年度	X	3.7	6.6	0.2	49.2	1.1	…	-	0.5
	青森県 平成30年度	26.5	0.6	2.0	0.8	46.2	2.3	…	0.3	1.5
	青森県 令和元年度	X	5.2	0.5	0.2	41.4	1.9	…	0.9	4.6
	青森県 令和2年度	X	0.5	0.9	-	45.8	6.9	…	-	1.7
	青森県 令和3年度	X	0.2	-	-	34.3	1.2	…	-	1.1
	青森県 令和4年度	23.6	-	2.1	-	40.0	2.8	…	0.3	1.2
	全 国 令和4年度	25.0	2.4	3.0	0.7	24.9	1.6	…	0.9	1.1
小 学 校	青森県 平成24年度	40.1	5.5	16.0	0.9	66.9	1.1	1.5	0.5	1.5
	青森県 平成30年度	46.2	5.6	20.4	1.6	57.5	2.2	1.5	0.6	2.4
	青森県 令和元年度	46.2	5.5	15.5	0.7	54.9	1.4	2.6	0.7	1.8
	青森県 令和2年度	47.1	6.2	17.5	0.8	50.5	1.5	1.3	1.0	1.5
	青森県 令和3年度	49.4	4.6	16.6	0.6	52.1	1.4	2.2	0.8	1.2
	青森県 令和4年度	48.7	4.7	14.2	0.9	50.8	1.6	1.8	0.9	1.6
	全 国 令和4年度	37.9	6.6	11.4	0.7	37.0	3.1	2.6	1.0	2.9
中 学 校	青森県 平成24年度	65.1	2.4	15.2	0.4	55.8	1.3	2.6	1.8	0.8
	青森県 平成30年度	64.4	4.4	17.5	0.4	45.7	1.3	1.9	2.4	1.4
	青森県 令和元年度	66.5	4.4	16.2	0.4	45.7	1.1	2.5	1.6	0.9
	青森県 令和2年度	66.2	4.4	12.7	0.2	39.5	1.1	3.2	3.4	0.9
	青森県 令和3年度	69.7	5.0	22.1	0.1	40.0	1.3	2.2	3.6	1.5
	青森県 令和4年度	70.0	3.8	12.7	0.2	40.2	0.9	2.6	2.1	0.8
	全 国 令和4年度	61.2	4.8	10.7	0.4	28.2	3.0	3.2	2.9	2.2
高 等 学 校	青森県 平成24年度	X	5.0	11.0	0.4	67.8	0.7	1.4	2.7	0.9
	青森県 平成30年度	72.4	2.2	10.8	0.1	57.4	1.3	1.9	3.1	1.0
	青森県 令和元年度	71.5	0.6	5.6	0.0	51.9	1.1	1.8	3.0	1.4
	青森県 令和2年度	71.6	1.7	4.1	0.2	48.8	1.7	1.5	1.8	0.9
	青森県 令和3年度	73.2	3.6	11.2	0.3	52.5	0.8	1.9	1.9	0.7
	青森県 令和4年度	72.7	1.0	7.1	0.0	50.2	1.9	1.6	2.0	1.0
	全 国 令和4年度	71.6	2.3	8.5	0.3	38.3	2.7	3.0	2.8	1.7

- 注： 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。
2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。
3. 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。
4. 令和4年度の数値については、調査時期の影響が含まれるため、令和3年度に引き続き令和元年度までの数値と単純な比較はできない。

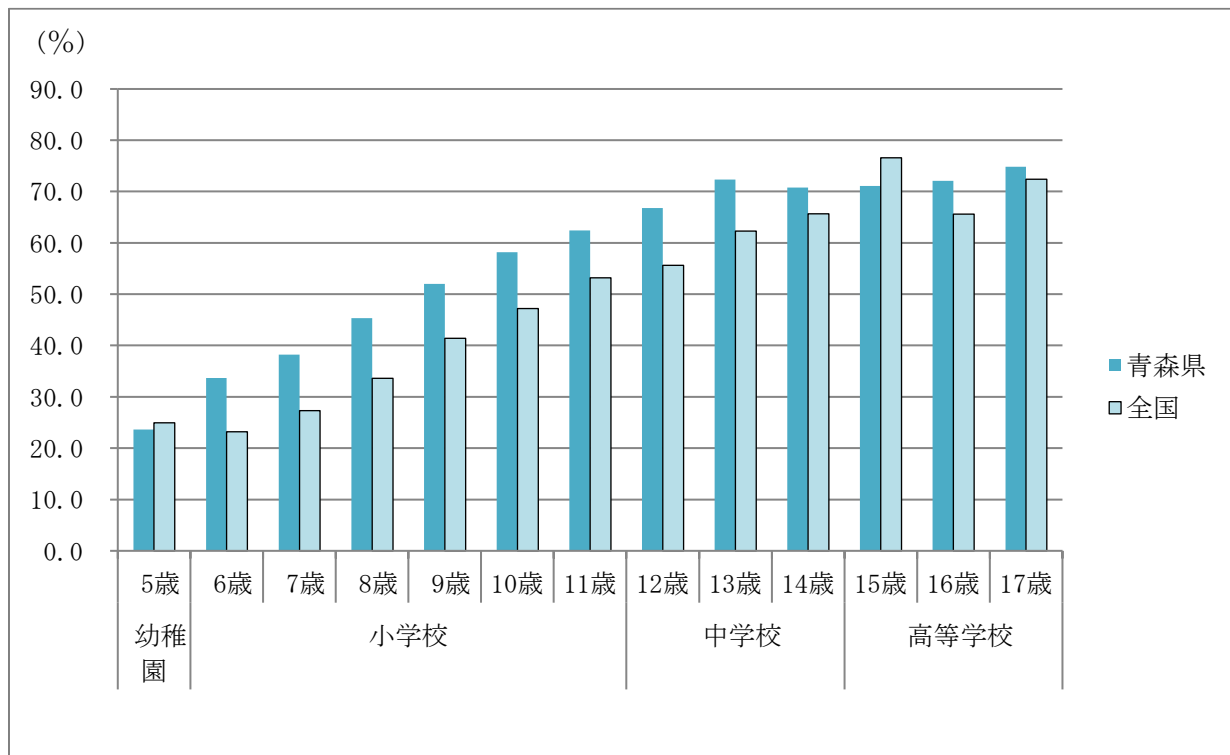
ア. 裸眼視力1.0未満の者

- ・裸眼視力1.0未満は5歳と15歳を除く11の年齢区分で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは8歳の11.7ポイントとなっている。
- ・学校種別に見ると、小学校では7歳から11歳の5つの年齢区分で、中学校では12歳、13歳の2つの年齢区分で全国第1位となっている。

表6 裸眼視力1.0未満の者の割合

区 分	年 齢	視 力 1 . 0 未 満 の 者 (%)				
		青森県 での調 査人数	令和4年度 (青森県) A	令和4年度 (全 国) B	全国との 差 A-B	令和4年度 青森県 順 位
幼稚園	5歳	781	23.6	25.0	-1.4	11
	6歳	3,122	33.7	23.2	10.5	2
小学校	7歳	3,083	38.2	27.3	10.9	1
	8歳	3,083	45.3	33.6	11.7	1
	9歳	3,193	52.0	41.4	10.6	1
	10歳	3,301	58.2	47.2	11.0	1
	11歳	3,292	62.4	53.2	9.2	1
	中学校	12歳	3,787	66.8	55.6	11.2
高等学校	13歳	3,870	72.3	62.3	10.0	1
	14歳	3,965	70.8	65.7	5.1	6
	15歳	5,274	71.1	76.6	-5.5	20
高等学校	16歳	5,034	72.1	65.6	6.5	13
	17歳	5,174	74.8	72.4	2.4	10

グラフ5 裸眼視力1.0未満の者の割合



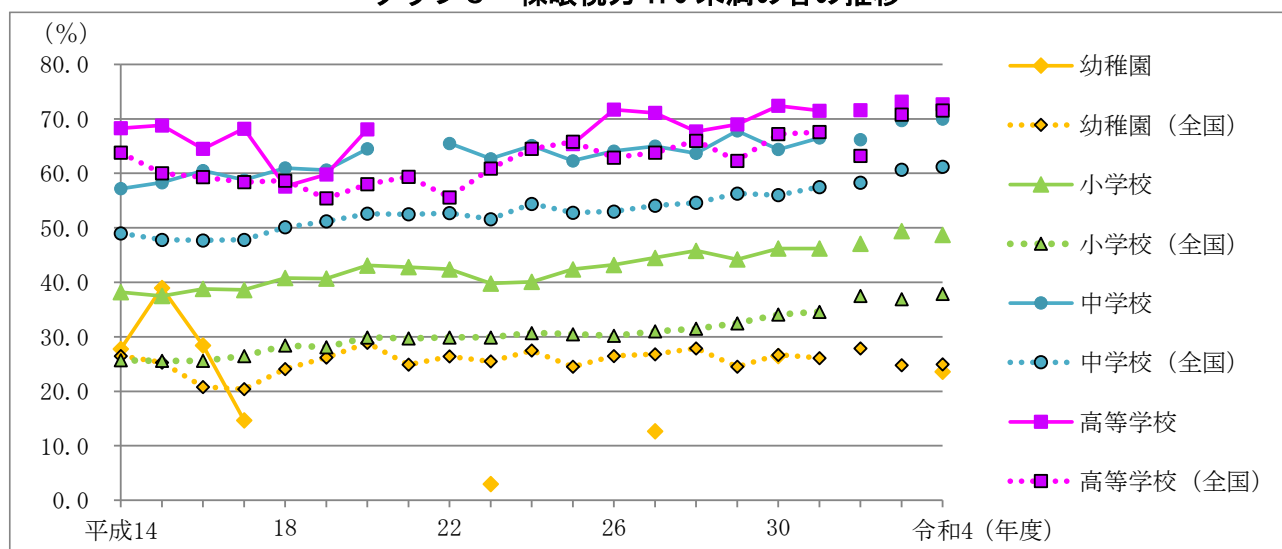
- ・裸眼視力1.0未満の者の割合は学校区分が上がるにつれて増加している。
- ・中学校以降では、裸眼視力0.3未満の者が4割を超えている。

表7 裸眼視力1.0未満の者の割合の推移

(単位：%)

区分		平成14年	24年	30年	令和元年	2年	3年	4年
幼稚園	計	27.8	X	26.5	X	X	X	23.6
	1.0未満0.7以上	14.8	X	20.6	X	X	X	16.9
	0.7未満0.3以上	11.5	X	5.2	X	X	X	6.0
	0.3未満	1.5	X	0.7	X	X	X	0.7
小学校	計	38.2	40.1	46.2	46.2	47.1	49.4	48.7
	1.0未満0.7以上	17.8	14.7	16.5	16.2	16.4	17.4	15.5
	0.7未満0.3以上	12.1	13.7	16.0	15.9	15.8	17.1	16.8
	0.3未満	8.3	11.7	13.6	14.0	14.8	14.9	16.4
中学校	計	57.2	65.1	64.4	66.5	66.2	69.7	70.0
	1.0未満0.7以上	11.2	12.4	9.1	10.2	13.0	12.0	11.0
	0.7未満0.3以上	16.7	17.2	16.7	17.4	17.7	17.2	18.0
	0.3未満	29.3	35.5	38.6	38.9	35.5	40.6	41.0
高等学校	計	68.3	X	72.4	71.5	71.6	73.2	72.7
	1.0未満0.7以上	10.3	X	8.5	8.3	10.0	8.3	9.8
	0.7未満0.3以上	15.1	X	16.2	13.0	14.6	14.5	14.6
	0.3未満	42.9	X	47.7	50.3	47.1	50.4	48.2

グラフ6 裸眼視力1.0未満の者の推移



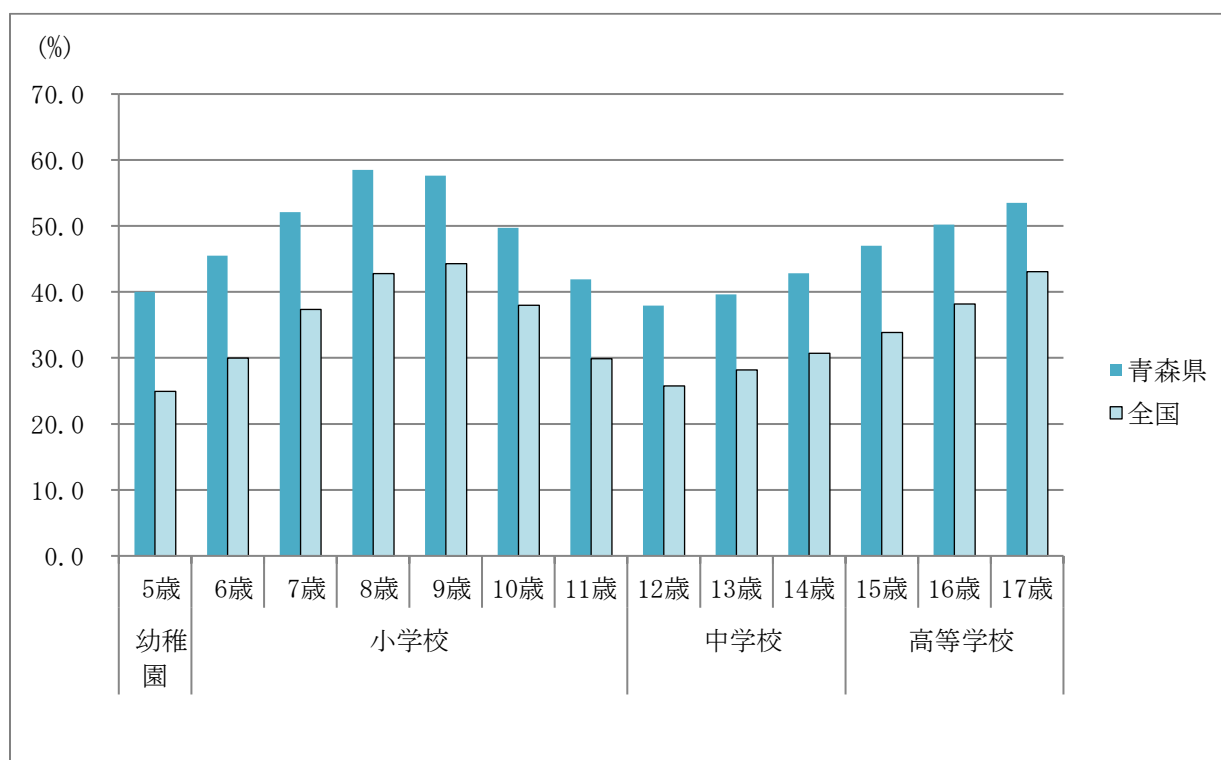
イ. むし歯（う歯）

- ・むし歯（う歯）の者の割合（治療済みを含む）は、全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは8歳の15.7ポイントとなっている。
- ・全国との差は、全年齢で10ポイントを超えており、6歳から8歳の3つの年齢区分で全国第1位となっている。

表8 むし歯（う歯）の者の割合

区 分	年 齢	む し 歯 （ う 歯 ） の 者 （ % ）				
		青森県 での調 査人数	令和4年度 （青森県） A	令和4年度 （全 国） B	全国との 差 A-B	令和4年度 青森県 順 位
幼稚園	5歳	781	40.0	24.9	15.1	2
小学校	6歳	3,122	45.5	30.0	15.5	1
	7歳	3,083	52.1	37.3	14.8	1
	8歳	3,083	58.5	42.8	15.7	1
	9歳	3,193	57.6	44.3	13.3	3
	10歳	3,301	49.7	38.0	11.7	4
	11歳	3,292	41.9	29.9	12.0	3
中学校	12歳	3,787	37.9	25.8	12.1	3
	13歳	3,870	39.6	28.2	11.4	3
	14歳	3,965	42.8	30.7	12.1	3
高等学校	15歳	5,274	47.0	33.9	13.2	4
	16歳	5,034	50.2	38.2	12.1	6
	17歳	5,174	53.5	43.1	10.5	7

グラフ7 むし歯（う歯）の者の割合



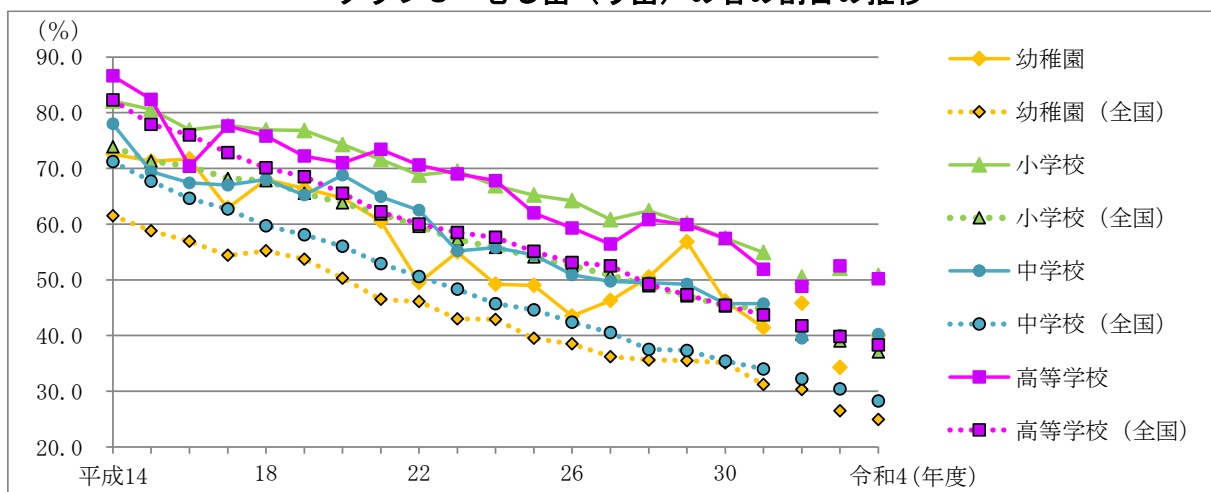
- ・むし歯（う歯）の者の割合（治療済みを含む）は、小学校、高等学校で5割を超えている。
- ・幼稚園と小学校では処置完了者よりも未処置のある者のほうが多くなっている。

表9 むし歯（う歯）の者の割合の推移

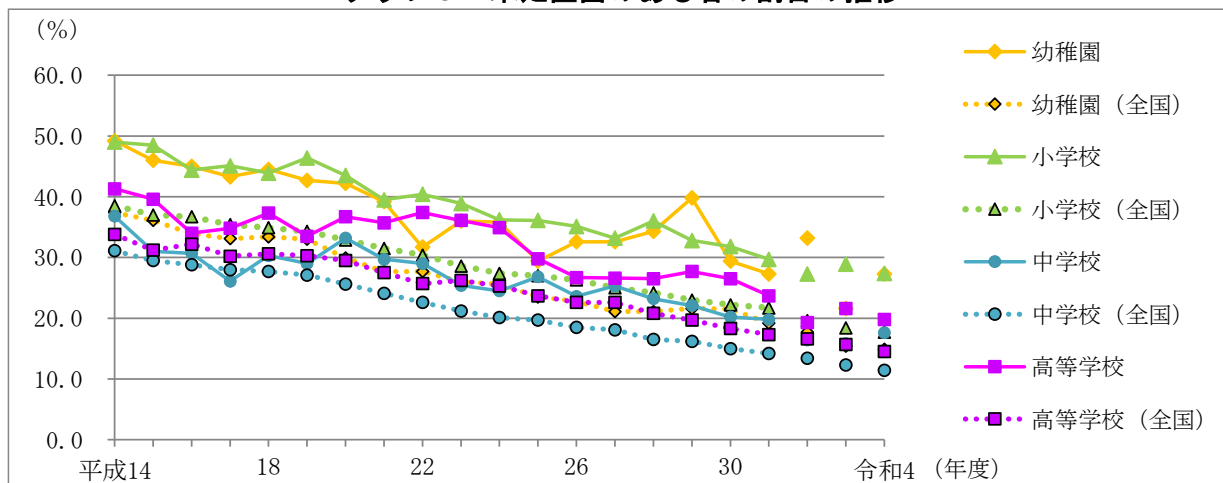
（単位：％）

区分		平成14年	24年	30年	令和元年	2年	3年	4年
幼稚園	計	72.6	49.2	46.2	41.4	45.8	34.3	40.0
	処置完了者	23.4	13.4	16.8	14.0	12.6	12.7	12.7
	未処置のある者	49.2	35.8	29.4	27.3	33.2	21.6	27.3
小学校	計	82.2	66.9	57.5	54.9	50.5	52.1	50.8
	処置完了者	33.1	30.7	25.7	25.2	23.2	23.1	23.3
	未処置のある者	49.0	36.2	31.8	29.7	27.3	28.9	27.4
中学校	計	78.0	55.8	45.7	45.7	39.5	40.0	40.2
	処置完了者	41.2	31.2	25.5	26.0	23.1	24.1	22.5
	未処置のある者	36.8	24.5	20.2	19.8	16.4	15.8	17.6
高等学校	計	86.6	67.8	57.4	51.9	48.8	52.5	50.2
	処置完了者	45.3	32.9	30.9	28.2	29.5	30.8	30.4
	未処置のある者	41.4	34.9	26.5	23.7	19.3	21.6	19.8

グラフ8 むし歯（う歯）の者の割合の推移

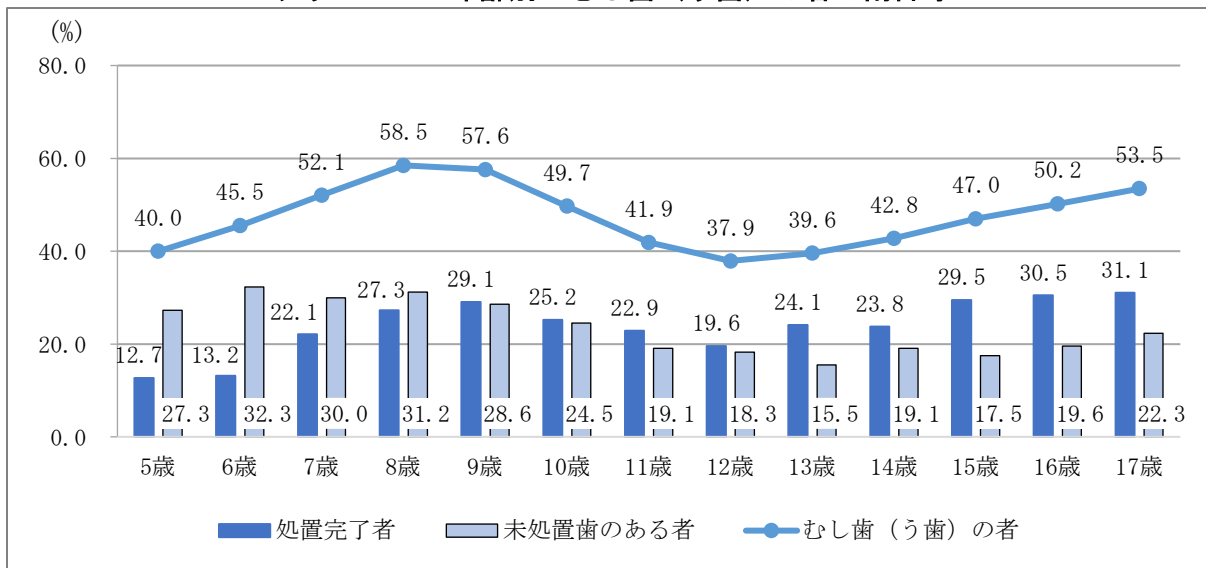


グラフ9 未処置歯のある者の割合の推移



- ・むし歯（う歯）の者の割合（治療済みを含む）を年齢別にみると、8歳が58.5%と最も高くなっている。また、処置完了者の割合は、9歳以降、未処置歯のある者の割合を上回っている。

グラフ10 年齢別 むし歯（う歯）の者の割合等



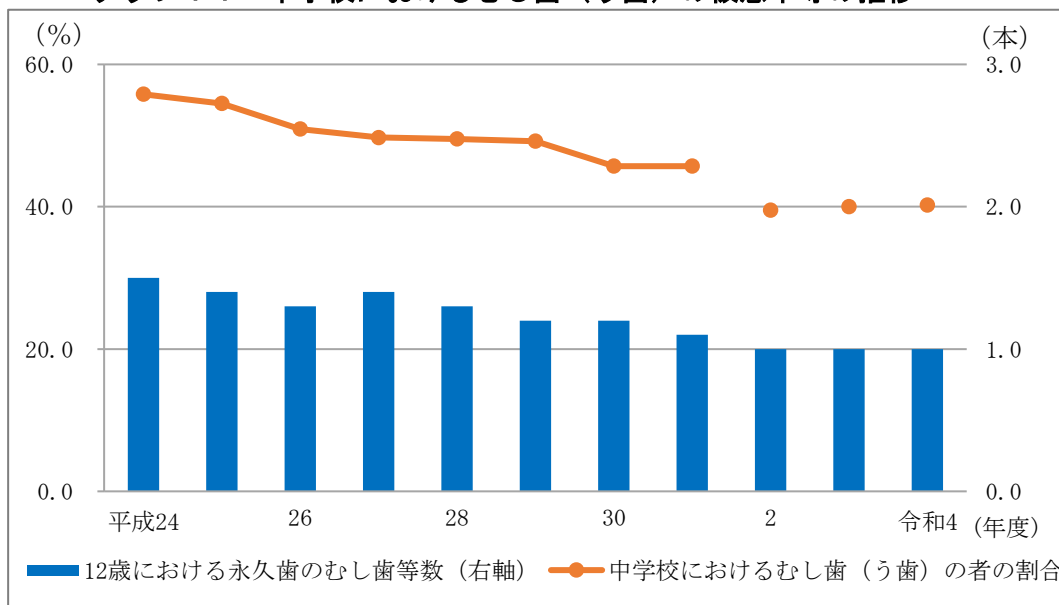
- ・中学1年（12歳）のみを調査対象としている永久歯の1人当たりの平均むし歯（う歯）数（喪失歯及び処置歯数を含む）は、1.0本となっている。

表10 12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯（う歯）等数

(本)

区分	平成24年	30年	令和元年	2年	3年	4年
計	1.5	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0
喪失歯数	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
むし歯（う歯）	計	1.5	1.2	1.1	1.0	1.0
	処置歯数	0.9	0.7	0.7	0.6	0.6
	未処置歯数	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4

グラフ11 中学校におけるむし歯（う歯）の被患率等の推移



ウ. ぜん息

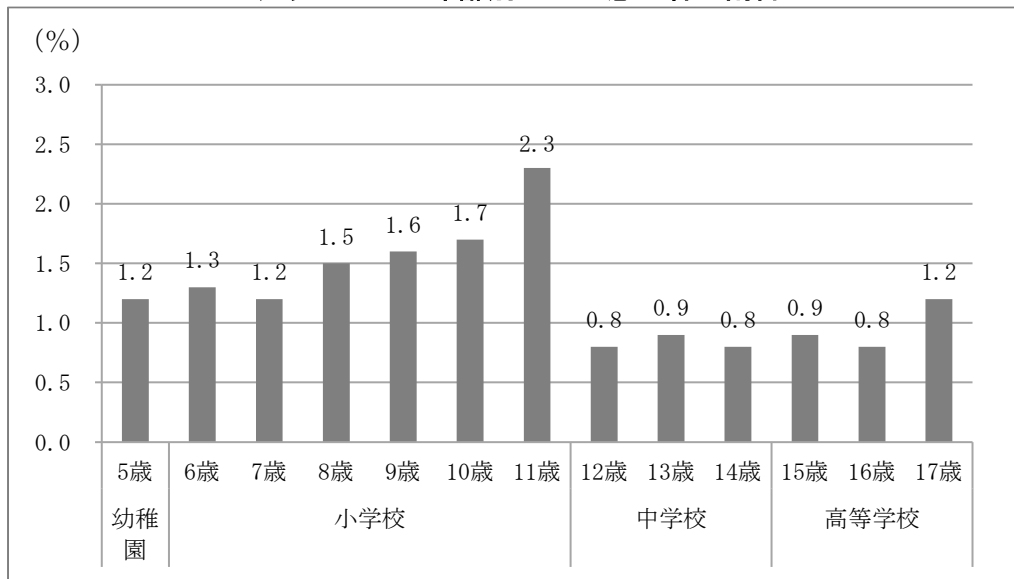
- ・ぜん息の者の割合は、幼稚園を除く学校区分で全国平均を下回っている。
- ・ぜん息の者の割合を年齢別にみると、11歳が2.3%と最も高くなっている。

表 1 1 ぜん息の者の割合の推移

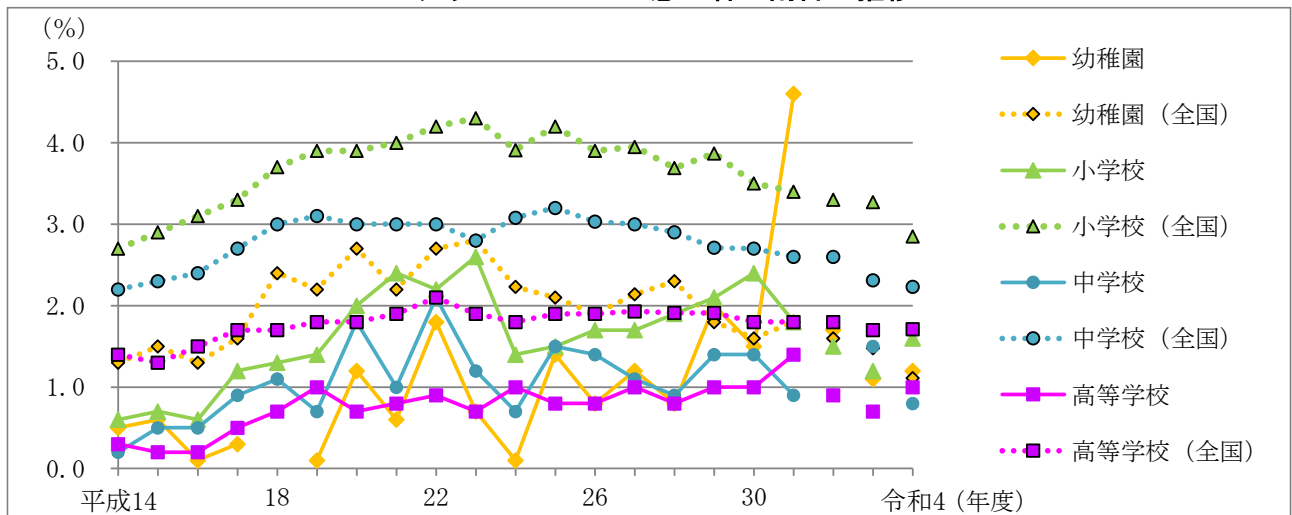
(単位：%)

区分		平成14年	24年	30年	令和元年	2年	3年	4年
青森県	幼稚園	0.5	0.5	1.5	4.6	1.7	1.1	1.2
	小学校	0.6	1.5	2.4	1.8	1.5	1.2	1.6
	中学校	0.2	0.8	1.4	0.9	0.9	1.5	0.8
	高等学校	0.3	0.9	1.0	1.4	0.9	0.7	1.0
全国	幼稚園	1.3	2.3	1.6	1.8	1.6	1.5	1.1
	小学校	2.7	4.2	3.5	3.4	3.3	3.3	2.9
	中学校	2.2	3.0	2.7	2.6	2.6	2.3	2.2
	高等学校	1.4	1.9	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7

グラフ 1 2 年齢別 ぜん息の者の割合



グラフ 1 3 ぜん息の者の割合の推移



エ. アトピー性皮膚炎

・アトピー性皮膚炎の被患率は、幼稚園を除く学校区分で全国平均を下回っている。

表 1 2 アトピー性皮膚炎の者の割合の推移

(単位：%)

区分		平成24年	30年	令和元年	2年	3年	4年
青森県	幼稚園	1.1	2.3	1.9	6.9	1.2	2.8
	小学校	1.1	2.2	1.4	1.5	1.4	1.6
	中学校	1.3	1.3	1.1	1.1	1.3	0.9
	高等学校	0.7	1.3	1.1	1.7	0.8	1.9
全国	幼稚園	2.9	2.0	2.3	1.9	1.8	1.6
	小学校	3.3	3.4	3.3	3.2	3.2	3.1
	中学校	2.5	2.9	2.9	2.9	3.0	3.0
	高等学校	2.1	2.6	2.4	2.4	2.6	2.7

グラフ 1 4 アトピー性皮膚炎の者の割合の推移

